

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

2025年11月14日

近鉄グループホールディングス株式会社
（証券コード 9041）

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp>

I	2026年3月期 第2四半期（中間期）決算概要	・・・	2
II	2026年3月期 通期業績予想	・・・	18

I 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算概要

中間連結損益計算書

(単位：百万円,%)

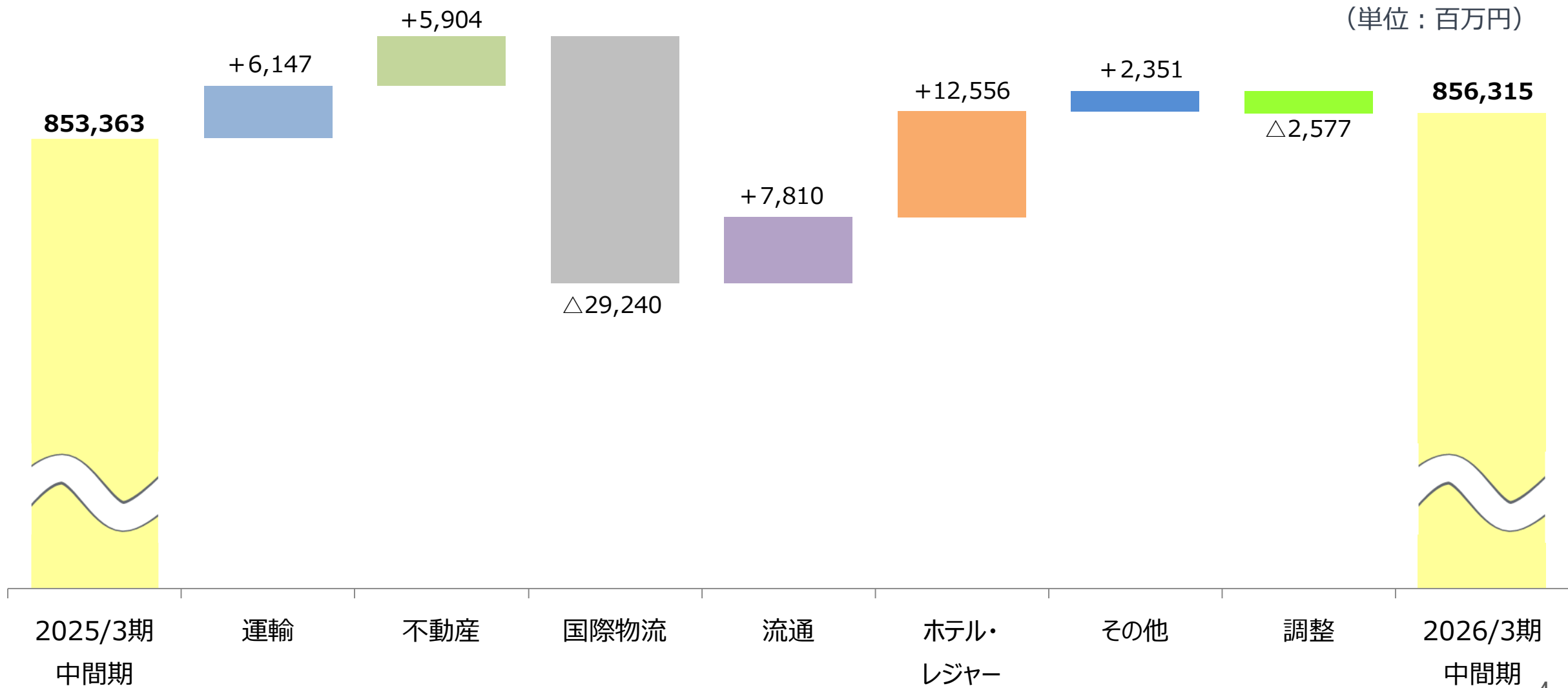
	2025/3期 中 間 期	2026/3期 中 間 期	増 減	増 減 率	増 減 要 因
営業収益	853,363	856,315	2,952	0.3	「セグメント別業績」参照
営業利益	39,504	42,167	2,662	6.7	「セグメント別業績」参照
営業外収益	5,679	6,782	1,102	19.4	受取利息及び配当金 431
うち持分法による投資利益	1,072	1,064	△ 7	△ 0.7	
営業外費用	7,317	9,169	1,852	25.3	シンジケートローン組成費用等
うち支払利息	5,567	6,757	1,190	21.4	
経常利益	37,867	39,780	1,912	5.1	
特別利益	4,812	9,650	4,838	100.5	近鉄百貨店名古屋店 閉店に伴う補償金 4,531
特別損失	4,726	6,059	1,332	28.2	近鉄百貨店名古屋店 閉店に伴う閉鎖損失1,990
親会社株主に帰属する中間純利益	21,824	23,731	1,906	8.7	

連結子会社数 198社（前期末比 1 社増）

持分法適用会社数 8 社（前期末比増減なし）

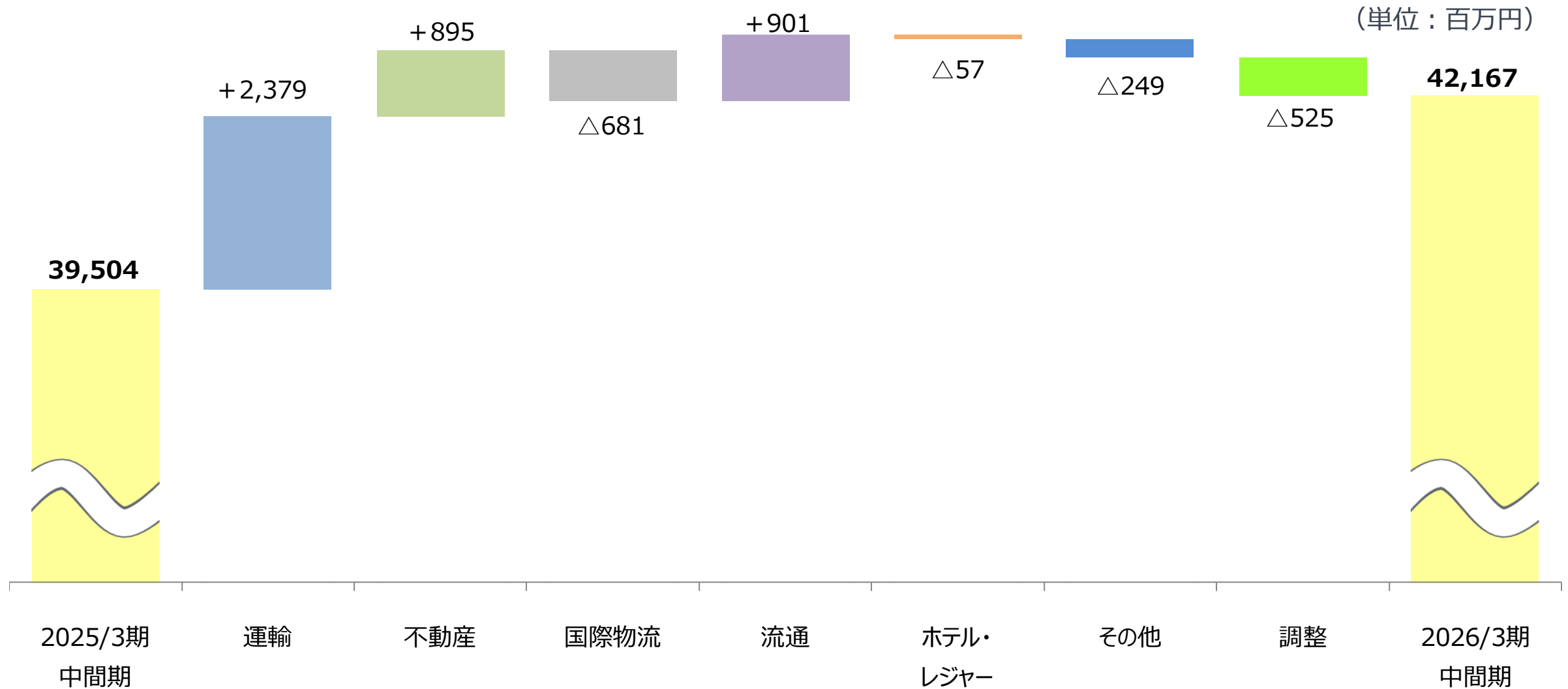
決算ポイント（営業収益）

本年4月に開幕した大阪・関西万博による旅客・消費需要やインバウンド旅客の増加による運輸業、流通業、ホテル・レジャー業の増収に加え、不動産業においてマンション販売が増収となったため、国際物流業での減収を差引き、連結全体で増収



決算ポイント（営業損益）

国際物流業、ホテル・レジャー業は減益となったが、運輸業等での増収効果により、連結全体で増益



セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2025/3期 中 間 期	2026/3期 中 間 期	増 減	増 減 率
運 輸	営業収益	108,174	114,322	6,147	5.7
	営業損益	15,170	17,550	2,379	15.7
不 動 産	営業収益	74,301	80,206	5,904	7.9
	営業損益	7,255	8,151	895	12.3
国際物流	営業収益	397,299	368,059	△ 29,240	△ 7.4
	営業損益	4,694	4,012	△ 681	△ 14.5
流 通	営業収益	105,119	112,929	7,810	7.4
	営業損益	2,767	3,668	901	32.6
ホテル・レジャー	営業収益	169,596	182,153	12,556	7.4
	営業損益	7,641	7,583	△ 57	△ 0.7
そ の 他	営業収益	22,034	24,385	2,351	10.7
	営業損益	1,829	1,580	△ 249	△ 13.6
調 整	営業収益	△ 23,162	△ 25,740	△ 2,577	
	営業損益	146	△ 379	△ 525	
連 結	営業収益	853,363	856,315	2,952	0.3
	営業損益	39,504	42,167	2,662	6.7

(単位：百万円,%)

	2025/3期 中 間 期	2026/3期 中 間 期	増 減	増 減 率
営業収益	108,174	114,322	6,147	5.7
鉄軌道	79,336	83,435	4,098	5.2
バス	17,386	18,774	1,387	8.0
タクシー	4,955	5,184	229	4.6
鉄道施設整備	8,045	8,357	311	3.9
その他運輸関連	6,032	6,463	430	7.1
調整	△ 7,582	△ 7,892	△ 310	
営業損益	15,170	17,550	2,379	15.7
(主 な 内 訳) 鉄軌道	13,614	15,274	1,660	12.2
バス	1,038	1,693	655	63.1

《鉄軌道》

- 大阪・関西万博開催に伴う旅客の増加や本年2月に実施したダイヤ変更による名阪特急増発効果に加え、インバウンド需要も堅調に推移したため、増収増益

近畿日本鉄道(株) 個別業績

	2025/3期 中 間 期	2026/3期 中 間 期	増 減	増 減 率(%)
〈収支〉				
営業収益 (百万円)	80,372	84,559	4,186	5.2
鉄軌道事業	79,336	83,435	4,098	5.2
旅客収入	75,945	80,046	4,100	5.4
定期外収入	50,533	54,478	3,944	7.8
定期収入	25,411	25,568	156	0.6
運輸雑収等	3,391	3,388	△ 2	△ 0.1
その他事業	1,035	1,124	88	8.6
営業損益 (百万円)	13,570	15,224	1,653	12.2
〈運輸成績〉				
輸送人員 (千人)	265,816	273,032	7,216	2.7
定期外	102,482	108,163	5,681	5.5
定期	163,334	164,869	1,535	0.9

(単位：百万円,%)

	2025/3期 中 間 期	2026/3期 中 間 期	増 減	増 減 率
営業収益	74,301	80,206	5,904	7.9
不動産販売	34,650	40,152	5,502	15.9
不動産賃貸	20,080	21,172	1,092	5.4
不動産管理	21,446	20,900	△ 545	△ 2.5
調整	△ 1,876	△ 2,020	△ 143	
営業損益	7,255	8,151	895	12.3
(主な内訳) 不動産販売	2,338	3,309	970	41.5
(主な内訳) 不動産賃貸	4,331	4,538	207	4.8

《不動産販売》

- 主として近畿圏において高価格帯のマンション販売が進捗したほか、首都圏では新築物件の一棟売却等もあり、増収増益

(単位：百万円,%)

	2025/3期 中 間 期	2026/3期 中 間 期	増 減	増 減 率
営業収益	397,299	368,059	△ 29,240	△ 7.4
日台韓	106,544	102,630	△ 3,913	△ 3.7
米州	46,703	47,948	1,245	2.7
欧州・中近東・アフリカ	26,687	26,177	△ 509	△ 1.9
東アジア	55,945	50,588	△ 5,356	△ 9.6
東南アジア・オセアニア	55,236	48,044	△ 7,191	△ 13.0
APLL	115,512	102,910	△ 12,602	△ 10.9
その他	3,364	3,345	△ 18	△ 0.6
調整	△ 12,694	△ 13,588	△ 893	
営業損益	4,694	4,012	△ 681	△ 14.5
日台韓	2,774	2,781	7	0.3
米州	2,100	2,020	△ 79	△ 3.8
欧州・中近東・アフリカ	159	△ 783	△ 943	—
東アジア	622	1,428	806	129.5
東南アジア・オセアニア	1,055	938	△ 117	△ 11.1
APLL	1,632	1,225	△ 407	△ 24.9
その他	195	246	50	25.9

- 本年4月のシステム障害の影響や欧州市場の低迷等により、減収減益

		2025/3期 中間期	2026/3期 中間期	増 減	増 減 率(%)
〈収支〉					
営業収入	(百万円)	397,299	368,059	△ 29,240	△ 7.4
(主な内訳)	航空貨物輸送	134,376	129,422	△ 4,954	△ 3.7
	海上貨物輸送	121,170	111,060	△ 10,110	△ 8.3
	ロジスティクス	117,719	103,892	△ 13,827	△ 11.7
営業総利益	(百万円)	57,575	56,282	△ 1,292	△ 2.2
営業損益	(百万円)	4,694	4,012	△ 681	△ 14.5
〈物量〉					
航空輸出重量	(千トン)	255	270	14	5.8
海上輸出物量	(千TEU)	363	368	5	1.5

(単位：百万円,%)

	2025/3期 中間期	2026/3期 中間期	増 減	増 減 率
営業収益	105,119	112,929	7,810	7.4
百貨店	55,808	62,546	6,738	12.1
ストア・飲食	49,310	50,541	1,231	2.5
調整	—	△ 159	△ 159	
営業損益	2,767	3,668	901	32.6
（主な内訳） 百貨店	1,872	2,620	748	40.0
ストア・飲食	894	1,047	152	17.1

《百貨店》

- 前年好調であった免税売上の反動はあったものの、大阪・関西万博のオフィシャルストアが好調に推移したため、増収増益

《ストア・飲食》

- 大阪・関西万博開催等による人流増加が駅ナカ店舗の売上に寄与したため増収増益

(単位：百万円,%)

		2025/3期 中 間 期	2026/3期 中 間 期	増 減	増 減 率
営業収益		169,596	182,153	12,556	7.4
	ホテル	21,881	23,395	1,514	6.9
	旅行	133,840	146,547	12,707	9.5
	映画	1,795	1,878	82	4.6
	水族館	5,580	5,651	71	1.3
	観光施設	6,567	4,777	△ 1,790	△ 27.3
	調整	△ 69	△ 96	△ 27	
	営業損益	7,641	7,583	△ 57	△ 0.7
(主な内訳)	ホテル	1,244	1,665	421	33.8
	旅行	2,201	2,978	777	35.3
	水族館	2,393	2,373	△ 20	△ 0.9
	観光施設	1,632	388	△ 1,243	△ 76.2

《ホテル》

- ・ インバウンドをはじめとする宿泊利用が堅調であったため、増収増益

《旅行》

- ・ 海外個人旅行や大阪・関西万博等の取扱いが増加したため、増収増益

《観光施設》

- ・ 前年に実施したコラボイベントの反動で志摩スペイン村の入場者数が減少したため、減収減益

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025/3期	2026/3期 中 間 期	増 減	増 減 要 因
流動資産	761,176	765,241	4,064	
固定資産	1,744,384	1,753,957	9,572	首都圏でのアセット取得等
うちのれん	56,017	54,393	△ 1,623	
資産合計	2,507,255	2,520,958	13,703	
流動負債	761,609	645,440	△ 116,168	短期借入金 △64,514、社債 △52,000
固定負債	1,131,921	1,238,510	106,588	長期借入金 69,351、社債 43,431
負債合計	1,893,531	1,883,951	△ 9,580	
純資産合計	613,723	637,007	23,283	
うち利益剰余金	234,814	254,158	19,344	純利益 23,731、配当金 △4,761
うちその他の包括利益累計額	129,300	128,991	△ 309	
負債・純資産合計	2,507,255	2,520,958	13,703	
純有利子負債残高	1,025,554	1,039,006	13,451	
借入金	897,994	902,830	4,836	
社債（コマーシャルペーパー含む）	358,917	350,348	△ 8,568	
リース債務（IFRS第16号による計上分を除く）	27,771	26,107	△ 1,664	
現金及び預金(△)	△ 259,128	△ 240,280	18,847	

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2025/3期 中 間 期	2026/3期 中 間 期	増 減	2026/3期 中間期 主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	37,259	53,491	16,231	●営業活動によるキャッシュフロー - 税金等調整前中間純損益 43,371 - 減価償却費 39,714 - 棚卸資産の増減額 △ 13,445 - 法人税等の支払額 △ 13,557
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 47,662	△ 45,608	2,053	●投資活動によるキャッシュフロー - 投資有価証券の取得 △ 7,377 - 投資有価証券の売却 7,539 - 固定資産の取得による支出 △ 59,491 - 工事負担金等受入 2,652 - 定期預金純増減額 9,134
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 48,978	△ 17,014	31,964	●財務活動によるキャッシュフロー - 短期借入金純増減額 △ 46,642 - 長期借入金純増減 51,970 - 社債純増減 △ 8,829 - 配当金支払額 △ 5,856 - リース債務の返済 △ 8,999
現金及び現金同等物 の中間末残高	182,537	222,572	40,035	

(単位：百万円)

	2025/3期 中 間 期	2026/3期 中 間 期	増 減	増減要因
設備投資	32,061	45,362	13,300	
運 輸	10,371	14,246	3,875	
（うち鉄軌道）	(9,351)	(12,405)	(3,053)	新型一般車両等
不動産	11,048	20,796	9,748	首都圏でのアセット取得等
国際物流	4,869	4,096	△ 773	
流 通	3,446	3,088	△ 358	
ホテル・レジャー	1,452	2,011	558	
その他	618	952	333	
調 整	254	170	△ 84	

減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2025/3期 中 間 期	2026/3期 中 間 期	増 減
運 輸	減価償却費	13,575	14,461	885
	EBITDA	28,746	32,012	3,265
不 動 産	減価償却費	4,812	5,119	306
	EBITDA	12,068	13,270	1,202
国際物流	減価償却費	6,721	6,749	28
	EBITDA	13,038	12,385	△ 653
流 通	減価償却費	3,210	3,300	89
	EBITDA	5,977	6,968	990
ホテル・レジャー	減価償却費	1,343	1,637	293
	EBITDA	8,984	9,221	236
そ の 他	減価償却費	1,058	1,059	1
	EBITDA	2,887	2,639	△ 248
調 整	減価償却費	142	211	68
	EBITDA	288	△ 168	△ 457
連 結	減価償却費	30,864	32,538	1,673
	EBITDA	71,993	76,329	4,336

- ・ 減価償却費には、IFRS第16号による計上分を含まない
- ・ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（IFRS第16号による計上分を除く） + のれん償却費

Ⅱ 2026年3月期 通期業績予想

- 活況を呈した大阪・関西万博の閉幕後は、プロモーション強化により沿線各地への国内旅客需要の取り込みを見込むほか、インバウンド需要は引き続き堅調に推移すると想定
- 国際物流は、米国における相互関税をはじめとする政策動向により輸送需要の見通しは引き続き不透明となるなか、市場競争の激化に伴う販売価格の低下を想定。
- 金利上昇や国内インフレ率の上昇による経済活動・個人消費への影響が懸念されるとともに、エネルギーコスト、原材料費、人財確保に向けた人件費の増加を想定

運 輸	▶ 鉄軌道 2025年度下半期の輸送人員は前年と同水準と想定
不動産	▶ 不動産販売 2025年度下半期のマンション分譲戸数は対前年ベースで増加と想定
国際物流	2025年度下半期の営業収入は対前年ベース約95%と想定 2025年度下半期の為替レートは1USドル＝約146円程度と想定
流 通	▶ 百貨店 2025年度下半期の売上高は、前年と同水準と想定
ホテル・ レジャー	▶ ホテル 2025年度下半期の直営ホテル売上高は、前年と同水準と想定 ▶ 旅行 2025年度下半期の売上高は、対前年ベースで国内旅行約107%、海外旅行約107%と想定

連結業績予想

(単位：百万円,%)

	2025/3期 通期実績	2026/3期 通期予想	増 減	増 減 率	当初予想 (2025年5月公表)	増 減
営業収益	1,741,787	1,750,000	8,212	0.5	1,880,000	△ 130,000
営業利益	84,399	88,000	3,600	4.3	88,000	—
経常利益	81,538	78,000	△ 3,538	△ 4.3	78,000	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	46,716	48,000	1,283	2.7	48,000	—
持分法による投資利益	1,993	1,500	△ 493	△ 24.8	1,500	—
支払利息	11,744	14,500	2,755	23.5	14,500	—

【主な増減要因】 ※営業収益・営業損益の詳細は次ページ以降を参照ください

- ・経常利益は持分法による投資利益や為替差益など営業外収益の減に加え、支払利息の増により減益見込み
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は減損損失の減等により増益見込み

セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2025/3期 通期実績	2026/3期 通期予想	増 減	増 減 率	当初予想 (2025年5月公表)	増 減
運 輸	営業収益	223,225	227,000	3,774	1.7	225,000	2,000
	営業損益	34,664	35,000	335	1.0	31,500	3,500
不 動 産	営業収益	165,359	181,000	15,640	9.5	184,000	△ 3,000
	営業損益	13,864	14,300	435	3.1	13,600	700
国際物流	営業収益	796,941	756,000	△ 40,941	△ 5.1	886,000	△ 130,000
	営業損益	12,967	13,300	332	2.6	17,100	△ 3,800
流 通	営業収益	215,359	222,000	6,640	3.1	223,000	△ 1,000
	営業損益	7,022	8,300	1,277	18.2	8,300	—
ホテル・レジャー	営業収益	344,905	370,000	25,094	7.3	370,000	—
	営業損益	13,984	14,300	315	2.3	14,300	—
そ の 他	営業収益	45,126	48,000	2,873	6.4	48,000	—
	営業損益	2,343	2,500	156	6.7	2,500	—
調 整	営業収益	△ 49,130	△ 54,000	△ 4,869		△ 56,000	2,000
	営業損益	△ 446	300	746		700	△ 400
連 結	営業収益	1,741,787	1,750,000	8,212	0.5	1,880,000	△ 130,000
	営業損益	84,399	88,000	3,600	4.3	88,000	—

《運 輸》

- ・ 鉄軌道業で大阪・関西万博の開催に伴う旅客需要に加え、本年2月のダイヤ変更による名阪特急の増発効果やインバウンドの増加を見込むため増収増益を予想

《不動産》

- ・ 営業収益は、不動産販売業でマンション販売戸数の増加や販売価格の上昇を見込むほか、不動産賃貸業でオフィスビル等が堅調に推移していること等により増収増益を予想

《国際物流》

- ・ 欧州市場の低迷やアジア発北米向けの輸送需要の縮小により減収を見込むが、利益率の改善により増益を予想

《流 通》

- ・ 百貨店業で大阪・関西万博オフィシャルストアや売場改装等による増収を見込むほか、ストア・飲食業でもインバウンド等による人流増加の影響を見込み増収増益を予想

《ホテル・レジャー》

- ・ ホテル業で宿泊需要は底堅く推移すると見込まれるほか、旅行業で海外旅行を中心に取扱いが増加する見通しであるため増収増益を予想

《運 輸》

- 鉄軌道業で大阪・関西万博の開催効果やインバウンド需要の増加等により定期外収入が好調に推移することを見込み増収増益を予想

《不動産》

- 不動産販売業でマンション販売戸数は計画を下回るものの、不動産賃貸業で賃貸収入が当初想定を上回る見通しであるため減収増益を予想

《国際物流》

- 本年4月に発生したシステム障害による影響に加え、欧州市場の低迷やアジア発北米向けの輸送需要の縮小を見込み減収減益を予想

	2025/3期 通期実績	2026/3期 通期予想	増 減	増減率(%)	当初予想 (2025年5月公表)	増 減
〈収支〉						
営業収益 (百万円)	162,291	167,216	4,924	3.0	164,682	2,533
鉄軌道事業	160,514	165,235	4,721	2.9	162,682	2,552
旅客収入	153,527	158,044	4,517	2.9	155,494	2,550
定期外収入	103,495	107,855	4,359	4.2	105,657	2,197
定期収入	50,032	50,189	157	0.3	49,837	352
運輸雑収等	6,986	7,190	203	2.9	7,187	2
その他事業	1,777	1,980	203	11.5	1,999	△ 18
営業損益 (百万円)	30,235	30,409	173	0.6	27,028	3,380
〈運輸成績〉						
輸送人員 (千人)	526,097	533,093	6,996	1.3	524,508	8,585
定期外	207,763	213,584	5,821	2.8	209,023	4,561
定期	318,334	319,509	1,175	0.4	315,485	4,024

		2025/3期 通期実績	2026/3期 通期予想	増 減	増減率(%)	当初予想 (2025年5月公表)	増 減
〈収支〉							
営業収入	(百万円)	796,941	756,000	△ 40,941	△ 5.1	886,000	△ 130,000
営業総利益	(百万円)	120,080	118,000	△ 2,080	△ 1.7	135,000	△ 17,000
営業損益	(百万円)	12,967	13,300	332	2.6	17,100	△ 3,800
〈物量〉							
航空輸出重量	(千トン)	527	549	22	4.2	600	△ 50
海上輸出物量	(千TEU)	725	761	35	4.9	780	△ 18

設備投資 純有利子負債残高

(単位：百万円,倍)

	2025/3期 通期実績	2026/3期 通期予想	増 減	当初予想 (2025年5月公表)	増 減
設備投資	83,072	171,000	87,927	179,000	△ 8,000
運 輸	36,360	39,000	2,639	39,000	—
（うち鉄軌道）	(32,861)	(34,000)	(1,138)	(34,000)	(—)
不動産	21,614	95,000	73,385	97,000	△ 2,000
国際物流	10,146	12,000	1,853	12,500	△ 500
流 通	6,312	8,000	1,687	8,500	△ 500
ホテル・レジャー	5,684	13,000	7,315	17,500	△ 4,500
その他	2,035	3,000	964	3,000	—
調 整	917	1,000	82	1,500	△ 500
純有利子負債残高	1,025,554	1,100,000	74,445	1,100,000	—
EBITDA	151,323	159,500	8,176	163,000	△ 3,500
純有利子負債 / EBITDA	6.8	6.9	0.1	6.7	0.2

- ・ 純有利子負債 = 借入金・社債・リース債務 - 現金及び預金
- ・ EBITDA = 営業損益 + 減価償却費（IFRS第16号による計上分を除く） + のれん償却費

減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2025/3期 通期実績	2026/3期 通期予想	増 減
運 輸	減価償却費	28,198	30,500	2,301
	EBITDA	62,862	65,500	2,637
不 動 産	減価償却費	9,942	10,500	557
	EBITDA	23,807	24,800	992
国際物流	減価償却費	13,678	13,500	△ 178
	EBITDA	29,893	30,300	406
流 通	減価償却費	6,465	6,500	34
	EBITDA	13,488	14,800	1,311
ホテル・レジャー	減価償却費	2,853	4,000	1,146
	EBITDA	16,837	18,300	1,462
そ の 他	減価償却費	2,204	2,500	295
	EBITDA	4,548	5,000	451
調 整	減価償却費	332	500	167
	EBITDA	△ 114	800	914
連 結	減価償却費	63,676	68,000	4,323
	EBITDA	151,323	159,500	8,176

- 減価償却費には、IFRS第16号による計上分を含まない

お問合せ先

総合政策本部 経営企画部

Tel : 06-6775-3478

Fax : 06-6775-3644

Mail : ir-info@rw.kintetsu.co.jp